

## 平成22年2月期 第3四半期決算短信

平成22年1月6日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 カルラ

コード番号 2789 URL <http://www.re-marumatu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 修一

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画担当取締役

(氏名) 清水 あさ子

TEL 022-351-5888

四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年2月期第3四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第3四半期	6,248	△7.2	161	582.0	142	—	47	—
21年2月期第3四半期	6,733	△6.9	23	276.1	△11	—	△59	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第3四半期	8.18	8.17
21年2月期第3四半期	△10.31	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第3四半期	5,882	2,365	40.2	408.09
21年2月期	6,486	2,345	36.2	405.71

(参考) 自己資本 22年2月期第3四半期 2,365百万円 21年2月期 2,345百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	—	—	5.00	5.00
22年2月期	—	—	—	—	—
22年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,616	△0.9	225	—	200	—	80	—	13.96

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |            |             |            |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年2月期第3四半期 | 5,809,712株 | 21年2月期      | 5,794,112株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年2月期第3四半期 | 13,544株    | 21年2月期      | 13,544株    |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年2月期第3四半期 | 5,799,051株 | 21年2月期第3四半期 | 5,794,062株 |

**※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項**

- 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、世界的な景気の減速、急激な円高の進行等を背景とした企業収益の悪化や設備投資の停滞、雇用不安による個人消費の縮小等、依然として厳しい状況が続いております。

外食産業におきましては、消費者の支出抑制の影響から外食を手控える傾向が一段と鮮明となり、厳しい経営環境で推移しております。

このような状況の中で、当社は和食のファミリーレストランとしての原点回帰を図り、和食の基本である刺身・天ぷら・すし・そば・うどんの商品力強化により競合他社との差別化を図り、既存店の活性化に努めるとともに、冗費の削減、店舗マネジメントの強化に取り組み、収益力の強化に努めてまいりました。

店舗展開につきましては、和風ファミリーレストラン「まるまつ」の新フォーマットタイプを山形県酒田市(60坪84席タイプ)と、宮城県気仙沼市(60坪104席タイプ)に新規出店いたしました。また、第1四半期に2店舗、第2四半期に3店舗、第3四半期に3店舗を閉店し、平成21年11月30日現在の店舗数は120店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高62億48百万円(前年同期比7.2%減)、営業利益1億61百万円(同582.0%増)、経常利益1億42百万円(前年同期は11百万円の損失)、四半期純利益47百万円(前年同期は59百万円の損失)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は58億82百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億3百万円減少いたしました。

流動資産の合計は、前連結会計年度末と比較して1億72百万円減少し4億59百万円となりました。

固定資産の合計は、前連結会計年度末と比較して4億31百万円減少し54億23百万円となりました。これは主に減価償却による固定資産の減少によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比較して6億23百万円減少し35億17百万円となりました。これは主に借入金の減少によるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して20百万円増加し23億65百万円となりました。この結果、自己資本比率は40.2%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は前連結会計年度末と比較して1億65百万円減少し、1億11百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、1億84百万円となりました。収入の主な内訳は、減価償却費2億70百万円、税金等調整前四半期純利益88百万円等、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額1億20百万円等であります。

投資活動の結果得られた資金は、1億2百万円となりました。主な内訳は、土地の売却等による収入1億75百万円、建設協力金等の貸付金回収による収入49百万円、新規出店店舗等の固定資産取得による支出1億19百万円等であります。

財務活動の結果使用した資金は4億52百万円となりました。主な内訳は、借入金の返済によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成21年4月9日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

## ②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法を採用しております。

## ③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目及び税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。また、繰延税金資産回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

## ①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## ②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

(たな卸資産の評価基準の変更)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、評価基準について原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	111,962	277,289
商品及び製品	124,708	140,020
原材料及び貯蔵品	47,272	43,624
売掛金	10,935	6,454
その他	164,564	164,435
貸倒引当金	△45	△46
流動資産合計	459,397	631,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,945,822	2,144,065
機械装置及び運搬具(純額)	55,723	70,063
工具、器具及び備品(純額)	193,457	261,589
土地	1,645,214	1,667,689
建設仮勘定	—	5,980
有形固定資産合計	3,840,218	4,149,388
無形固定資産	97,171	112,045
投資その他の資産		
長期貸付金	631,844	670,210
敷金及び保証金	684,752	730,113
その他	169,390	192,889
投資その他の資産合計	1,485,986	1,593,212
固定資産合計	5,423,376	5,854,646
資産合計	5,882,774	6,486,424
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	154,744	274,982
短期借入金	210,110	320,030
1年内返済予定の長期借入金	893,207	925,740
未払法人税等	37,203	45,669
賞与引当金	12,841	10,675
ポイント引当金	1,984	1,921
その他	314,970	389,659
流動負債合計	1,625,061	1,968,678
固定負債		
長期借入金	1,695,283	1,971,654
長期未払金	175,675	175,675
その他	21,397	25,211
固定負債合計	1,892,355	2,172,540

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
負債合計	3,517,416	4,141,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,202,719	1,200,987
資本剰余金	938,559	938,559
利益剰余金	253,624	235,204
自己株式	△29,546	△29,546
株主資本合計	2,365,357	2,345,205
純資産合計	2,365,357	2,345,205
負債純資産合計	5,882,774	6,486,424

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)
売上高	6,248,692
売上原価	1,989,717
売上総利益	4,258,974
販売費及び一般管理費	4,097,087
営業利益	161,886
営業外収益	
受取利息	13,400
協賛金収入	3,371
受取賃貸料	23,135
その他	12,636
営業外収益合計	52,544
営業外費用	
支払利息	40,757
賃貸費用	9,884
その他	21,561
営業外費用合計	72,203
経常利益	142,227
特別利益	
固定資産売却益	101,576
特別利益合計	101,576
特別損失	
店舗閉鎖損失	56,067
減損損失	97,688
固定資産売却損	1,805
固定資産除却損	63
特別損失合計	155,624
税金等調整前四半期純利益	88,179
法人税、住民税及び事業税	30,981
過年度法人税等	5,476
法人税等調整額	4,398
法人税等合計	40,856
四半期純利益	47,322

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成21年3月1日  
至 平成21年11月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	88,179
減価償却費	270,140
減損損失	97,688
受取利息	△13,400
支払利息	40,757
有形固定資産売却損益 (△は益)	△99,771
固定資産除却損	63
退店損失	56,067
たな卸資産の増減額 (△は増加)	11,664
仕入債務の増減額 (△は減少)	△120,237
その他	△57,362
小計	273,788
利息の受取額	13,387
利息の支払額	△40,146
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△62,471
営業活動によるキャッシュ・フロー	184,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△119,485
有形固定資産の売却による収入	175,866
貸付けによる支出	△33,589
貸付金の回収による収入	49,574
敷金及び保証金の差入による支出	△6,148
敷金及び保証金の回収による収入	36,823
その他	△173
投資活動によるキャッシュ・フロー	102,866
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△109,920
長期借入れによる収入	345,000
長期借入金の返済による支出	△653,904
長期未払金の返済による支出	△6,811
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,731
配当金の支払額	△28,846
財務活動によるキャッシュ・フロー	△452,750
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△165,327
現金及び現金同等物の期首残高	277,289
現金及び現金同等物の四半期末残高	111,962

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)

当社グループはレストラン事業の売上高、営業利益の金額が全セグメントの売上高、営業利益の金額の合計額の90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

(所在地別セグメント情報)

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

(海外売上高)

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考」

## 前年同四半期に係る財務諸表

## (1) (要約)四半期連結損益計算書

	前年同四半期 (平成21年2月期第3四半期)
区分	金額 (千円)
I 売上高	6,733,988
II 売上原価	2,181,141
売上総利益	4,552,847
III 販売費及び一般管理費	4,529,109
営業利益	23,737
IV 営業外収益	33,259
V 営業外費用	68,681
経常利益	△11,684
VI 特別利益	3
VII 特別損失	1,901
税引等調整前四半期純損失	△13,581
税金費用	45,932
少数株主利益	88
四半期純損失	△59,602

## (2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前年同四半期
	(平成21年2月期第3四半期) 金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前第1四半期純損失	△13,581
減価償却費	328,846
受取利息	△10,736
支払利息	43,515
固定資産売却益	△3
固定資産除却損	93
固定資産売却損	1,807
たな卸資産の増加額	△35,524
仕入債務の増加額	3,170
その他	△61,544
小計	256,044
利息の受取額	10,736
利息の支払額	△43,515
法人税等の支払額	13,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	236,683
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△161,322
有形固定資産の売却による収入	301
子会社株式取得による支出	△3,200
貸付による支出	△52,270
貸付金の回収による収入	47,862
敷金・保証金の差入による支出	△66,240
敷金・保証金の返還による収入	34,374
その他	△29,890
投資活動によるキャッシュ・フロー	△230,385
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の増減額	180,020
社債の償還による支出	△30,000
長期借入金の借入による収入	400,000
長期借入金の返済による支出	△624,916
割賦未払金の支払による支出	△37,230
新株発行による収入	66
少数株主からの払込による収入	3,200
自己株式取得による支出	△14
配当金の支払額	△57,233
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166,106
<b>IV 現金及び現金同等物の減少額</b>	△159,808
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	398,989
<b>VI 現金及び現金同等物の期末残高</b>	239,181